



ロータリー2025～2026年度

UNITE FOR GOOD

よいことのために手をとりあおう

第2840地区 2025～2026年ロータリーのテーマ

館林ロータリークラブ会報

R.I加盟承認1958年6月2日

Club ID 13956

2026年3月27日(金) 第3273回例会報告 (No, 31)

点鐘・ソング 奉仕の理想

— 会長挨拶 —



山本 樹 副会長

本島会長が所用のため、今週と来週は私が代理で務めさせていただきます。

先々週は次年度会長、次年度幹事のラーニングセミナーを受けてきました。次年度予定者としての準備が一つ済み、7月からの会長ことを想いながらこの場に立たせていただいております。

3月の出入りが多い時期となりますが、島田支店長が異動となり、本日オブザーバーとして、後任の群馬銀行、伊澤様がいらっしゃっております。また、新しいメンバーが1人、仲間に加わるということで、新しい刺激をもらえるような気がしますので、非常に楽しみにしております。

いよいよ本島会長年度も残り3ヶ月となっております。6月の親睦旅行が事業として残っておりますが、他の事業はほとんど終了しております。会員拡大におきましては、本島会長を筆頭に私も会員拡大メンバーとして、皆様のご協力を得ながら、今年度中に多くの仲間を増やして、気付きのあるロータリーにしていきたいと思っておりますので、ぜひ残り3ヶ月、どうぞよろしく願いいたします。

— お客様のご紹介 —



共創未来グループ 東邦薬品株式会社

植田 元気 様

邊見 光雅 様

オブザーバー 群馬銀行 伊澤 尚樹 様

— 会務報告 —

山本 樹 副会長

- R 8. 3. 20 (金) 新会員セミナー
於・エテルナ高崎
- 参加者 松本 隆志・田中 聡美・新井 律子
- R 8. 3. 23 (月) 館林市緑化推進委員会
- 参加者 関口 昇 於・館林市役所
- R 8. 3. 24 (火) 本島年度第3回親睦
ゴルフコンペ 於・倶楽部我山
- 参加者 藤島 厚・新井 律子・荒木千津子
石川 長司・磯野 哲也・小池 敏郎
関口 良幸・谷田川敏幸・山本 樹
横田 善次・事務局
- R 8. 3. 24 (火) " 懇親会
於・吉川
- 参加者 ゴルフ参加者・堀越 貴之
- R 8. 3. 26 (木) 館林市健康づくり推進
懇話会
- 参加者 中世 吉昭 於・館林市保健センター
- 今後の予定
- R 8. 4. 4 (土) 第2回ガバナー補佐・
委員長合同会議
- 対象者 小暮 雅丈 於・ビエント高崎

R 8. 4. 11 (土) 第3回地区補助金予備
 審査会
 対象者 山本 樹 於・前橋商工会議所会館

R 8. 4. 11 (土) 桐生南RC創立
 60周年記念式典 於・美喜仁桐生文化会館
 対象者 本島 克幸・藤島 厚

R 8. 4. 12 (日) 沼田中央RC創立40
 周年記念式典 於・ホテルベラヴィータ
 対象者 本島 克幸・藤島 厚

R 8. 4. 16 (木) 第4回公共イメージ・
 ICT推進委員会
 対象者 長柄 光則 於・ガバナー事務所

R 8. 4. 18 (土) 新規米山奨学生・
 カウンセラーオリエンテーション
 於・前橋問屋センター会館
 対象者 齊藤 一則・飯塚 一成

R 8. 4. 18 (土) 現新米山奨学委員会
 於・前橋問屋センター会館
 対象者 齊藤 一則・飯塚 一成

R 8. 4. 18 (土) 現新米山奨学委員会懇親会
 対象者 齊藤 一則・飯塚 一成 於・福州飯店

R 8. 4. 19 (日) 青少年交換委員会・派遣
 候補生オリエンテーション
 対象者 荒木千津子 於・ガバナー事務所

R 8. 4. 19 (日) 高崎シンフォニーRC
 創立30周年記念式典 於・ホテルメトロポリタン高崎
 対象者 本島 克幸・藤島 厚

R 8. 4. 22 (水) 第4分区A・B9RC
 親睦チャリティゴルフ大会 於・鳳凰ゴルフ倶楽部
 対象者 本島 克幸・藤島 厚・石川 長司
 小池 敏郎

R 8. 4. 25 (土)・26日(日) 第38回
 全国ローターアクト大会
 於・国立オリンピック記念青少年総合センター

R 8. 5. 16 (土) クラブ・リーダーシップ・
 ラーニングセミナー 於・安中市文化センター/並木苑

R 8. 5. 20 (水)～21(木) 歴代地区
 幹事会
 対象者 小暮 雅丈 於・温もりの宿 辰巳館

R 8. 5. 29 (金)～31日(日) 全国青少年
 交換研究会福岡会議
 対象者 荒木千津子 於・福岡

R 8. 6. 2 (火) 現新会長・幹事会
 於・太田グランドホテル
 対象者 本島 克幸・藤島 厚・宮内 敦夫
 小暮 雅丈・山本 樹・中世 吉昭
 事務局

R 8. 6. 13 (土)～15(月) 親睦家族旅行
 於・台湾
 対象者 本島 克幸・飯塚 一成・上野 和路
 毛塚 宏・小池 敏郎・関井 宏一
 堀越 貴之・山本 樹

R 8. 6. 14 (日) 台北国際大会地区ナイト
 於・大三元

R 8. 6. 19 (金) 最終例会
 於・ニューミヤコホテル館林

R 8. 7. 18 (土)～19(日) 第2回
 IFMRジャパン大会 於・青森県五所川原市

R 8. 10. 18 (日)～23(金) 第61回世界
 ゴルフ選手権 於・台湾・台北



藤島 厚 幹事

一 幹 事 報 告 一

1. 例会場・例会時間の変更
 2. 会報、週報
 - ◆大泉RC → 3月会報
 - ◆館林東RC → 2月会報
 3. その他
 - ◆ガバナー事務所
 - ◆ガバナー事務所
- ①第2750地区第46回ローターアクト年次大会催
 のご案内
- 【日 時】5月30日(土)
 本会議 13:00～16:00
 懇親会 16:30～18:00
- 【会 場】学校法人メイ・ウシヤマ学園 ハリウッド
 美容専門大学校
- 【登録料】10,000円
- ②「2025年手続要覧」印刷冊子についてのご案内
 現在、電子データのみでの配信(マイロータリーから
 ダウンロードできます)
 購入希望のクラブは4/9(木)必着にて注文
- ③青少年交換委員会・派遣候補生オリエンテーション
 のご案内
- 【日 時】4月19日(日) 11:00～15:00
 【会 場】ガバナー事務所
 【対象者】荒木千津子
- ④2026-27年度地区役員・地区委員就任依頼
- | | |
|-------------------|-------|
| ガバナー諮問委員会委員 | 宮内 敦夫 |
| 第4分区Bガバナー補佐 | 小暮 雅丈 |
| 審議会立法案検討委員会委員 | 小暮 雅丈 |
| 会員組織強化委員会委員 | 小暮 雅丈 |
| 公共イメージ・ICT推進委員会委員 | 長柄 光則 |
| 国際大会推進委員会委員 | 関井 宏一 |
| 青少年交換委員会委員 | 荒木千津子 |
| 米山記念奨学委員会委員 | 飯塚 一成 |
| | 齊藤 一則 |
- ◆館林ミレニアムロータリークラブ
 → 原ガバナー補佐最終訪問日のご連絡
- | | |
|------|----------|
| 館林RC | 6月12日(金) |
| 大泉RC | 6月3日(水) |

館林東RC 5月13日(水)
館林ミレニアムRC 6月18日(木)

— 委員会報告 —

第3回本島年度ゴルフコンペのご報告



藤島 厚 幹事

優勝 磯野 哲也 会員
準優勝 石川 恵 事務局
第3位 藤島 厚 幹事



出席委員会 小池 和敏 委員長
例会出席報告

通算3273回例会

会員数	52名
出席率算出会員数	50名
出席者数	25名
欠席者数	25名
出席率	50.00%
前前回修正	74.00%~76.00%



ニコニコBOX委員会 長柄 光則 委員長

— ニコニコBOX —

☆本島 克幸会長 大変頂きました
本日の例会出席ありがとうございます。私事で、3月23日に左足首を骨折してしまい、来週手術をして少し入院する予定です。皆様には、しばらくの間、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。また復帰するまでの間、山本副会長、ご面倒をおかけいたしますがよろしくお願い致します。

☆山本 樹副会長 大変頂きました
会長エレクト次年度幹事ラーニングセミナーを受講してきました。準備が一步進んだ気がしています。また、本日は会長代理を務めさせていただきます。東邦薬品の植田様、邊見様、卓話お世話になります。

☆藤島 厚幹事 頂きました
先日の第3回本島年度の親睦コンペではお世話になりました。また本日は共創未来グループの植田様、邊見様、卓話よろしくお願い致します。本島会長、おだいに。

☆谷田川敏幸会員 頂きました
島田支店長お世話になりました。伊澤さんこれからよろしくお願い致します。

☆横田 善次会員 頂きました
島田様、館林ロータリーお疲れ様でした。今後のご健勝・ご活躍・期待しております。

☆森田信一郎会員 頂きました
昨日で館林商工会議所青年部を終えることができました。いろいろとご尽力いただきまして誠にありがとうございます。少しゆっくりできそうです。

☆正田 隆会員 大変頂きました
島田支店長、ご栄転おめでとうありがとうございます。伊澤支店長、これからよろしくお願い致します。

☆島田 直樹会員 頂きました
4月11日付けて転勤となりました。皆様にはいろいろお世話になり、ありがとうございました。

☆田中 聡美会員 頂きました
植田様、邊見様、今日は卓話ありがとうございます。

— 卓 話 —



プログラム・健康増進委員会 田中 聡美 副委員長



共創未来グループ 東邦薬品株式会社

植田 元気 様

邊見 光雅 様

皆様こんにちは。本日は全く貴重なお時間をいただきましたありがとうございます。先程ご紹介いただきました東邦薬品の植田と申します。よろしく願いいたします。今回、お話をさせていただくのは、今、超高齢社会の中、高齢者が増えてきて、かつ認知症の方が増えてきております。その中で独り歩き俗言う徘徊に関しまして、東邦薬品として館林市に事業をご提案させていただきましたので、そのご紹介を兼ねお話をさせていただきたいと思っております。

現在、超高齢化社会という中で国の方で色々な動きが出ております。元々介護保険が始まったときは、介護というものがメインとなっておりますが、現在は介護ではなくて、自立支援という形に動きが変わってきております。かつ自立支援中にはご自身で動くことだけではなく、地域作りというところで、地域の活性化を図りながら、よりよい社会を、地域共生社会を築いていくというような動きとなっております。その中で今回、認知症のお話をさせていただきますが、先程お話しました介護から脱却という形で、今は地域包括ケアシステム、各地域のエリア毎に応じて色々なことをしていきますという動きが進んでいます。具体的に何をするのかといいますと、介護予防の評価とい

う形で介護を受けられる方を減らす。もっと言うところできるだけ元気な時間を増やしていこうという健康寿命を増やしましょうという動きや今介護を受けられてる方も、重度化防止をして少しでも軽くなって、普段の元気な姿で生活ができる様にしていきましょう。プラスして、これから団塊の世代の方々が増えてきますので、周りの社会環境の整備をしていくことで、自治体毎に色々な動きをされています。

館林市でもされているのがフレイル予防という形で、元気な方を会議の場を通じて広げていきたいと思いますとか、今回、認知症対策であるとか、共生社会という形で地域で見守るお話になります。今日はこの後、認知症サポートのお話を少しさせていただきますが、医療と介護の連携を図っていくという中で、皆様が普段の元気な姿で、そのまま生活できるようにしていくというような動きがあります。実際に、国の方でも動きが変化しております、介護保険ができたときは介護という形だけでしたが、現在は、精神障害の方、認知症の部分であるとか、知的障害の方も入っておりますが、より良い生活ができるように支援をしていきたいと思いますという形で動いております。実際に地域包括ケアシステムという名前は業種に関わらないと聞かれたことはないと思いますが、実はこの言葉自身は1980年ぐらいに広島県の三ツ木町というところで、今の尾道の総合病院で作られた言葉が今現在も生きています。

来年度の国の予算で地域で「地域支援事業」「重層的支援体制整備」という形で国が家をバックアップして都道府県が市町村をバックアップして、エリア毎で事業をしてくれる方に補助金を出してバックアップしていきましょうという形で、地域に応じた動きを取り組めるような仕組みが現在、動いています。実際に各地域をみていきますと、地域共生社会の実現という形でこれからの団塊の世代の人たちの高齢化が急激に増えてきています。しかも元気な方も増えてきていて、あるドクターの方曰く、「これからは人生130年生きるのが普通じゃないか」と言う先生もいらっしゃいます。裏を返せば、お薬の整備であるとか、元気なまま生きているのか、いろんな管がついて生きているのかということも加味した状況にはなってくると思っておりますが、自由気ままな生活ができる形が今現在の地域の動きとなってきています。

市区町村を中心として地域は動いておりますが、そ

の中で何が一番必要かといいますと、実は色々なタイプの見守りが必要じゃないかと言われてます。当然、介護を受けている方の見守りも必要ですが、元気な方が介護を受ける手前を気付いてあげる見守りも必要であれば、地域でいうと例えば道路が陥没していて水が噴き出ているということも見守りに入ってきますが、そういった部分を含め各地域毎の見守り活動をすることによって、地域が活性化して元気な方々が地域で守っていこうという動きが今現在行われております。その中で今回は高齢者の認知症というところに絞らせていただきます。

実際に認知症の方はぱっと見たときにどの方が認知症なのか、正直見分けがつかないと思っています。共生社会だと言われても、手助けをしようとしても、どの方が認知症であるか、わからなければ手助けすることはできません。一つの例で申し上げますと、例えばヘルプマーク。ペースメーカーをつけられるとヘルプマークをいただくことができますが、ペースメーカーをつけてる人を他の方が見てわかることはないと思いますし、マタニティマークは体がふくよかだからといって、必ずしも妊婦さんには限らないと思いますので、今はヘルプサインが全国的に増えてきています。これに関しては高齢の方であるとか、障害のある方々についても、ヘルプサインを使って見守っていこうというような動きが出てきております。今回、館林市、邑楽地区に提供しているものに関しましては、シールを身に付けていただくことで、目で見てこの人がヘルプサインの対象になること。そしてその中にQRコードを入れさせていただきました。QRコードを入れることによって、ご家族様に連絡が取れたり、その方の病気の情報がわかるとか、お声掛けができたりなど、新しい支援体制ができるようなものを作らせていただいております。今までこちらのエリアで何もしてなかったわけではないと思っています。主によく聞くのが、捜索願を出して警察の方々と一緒に行方不明者を探す。もしくはGPS、スマートフォンを使って位置検索をするというのがありました。また、群馬県警でもそうですが、認知症の方で行方不明届が出るのは約2割といわれています。8割の方は行方不明の時は出ていなく、保護されて警察官が出動したので、書類を書いてくださいという方が残り8割だそうです。認知症の方はぱっと見て散歩なのかどうかわからない、そういう時代になってきています。また、普段の生活で在

宅生活をされている方が多くなってきています。今、各地域では地域の目を使って見守りネットワークを作ったり、SOS事業を作って災害メール、LINE、メール等でこういった方が行方不明になりましたと、3月27日12時文化会館の近くで65歳男性の方が行方不明。見かけたらお声掛けしてください。このようなアナウンスが流れることがあります。それにプラスして私達のシールをご提供することが私達の動きになっています。シールを貼ることによって、この方がお困りの方ですよとわかっていただくことがメインになっています。かつ役所の方によく言われますが、そのようなシールをつけると、不公平じゃないか、差別じゃないかというお話をいただきます。シールを見える位置に貼っている認知症の方にとって、認知症状がとてもしんどい方が非常に多いですので、早くお声をかけて助けてあげないと、交通事故に遭ってしまったということもありますので、そういった方は外に貼る。逆に認知症といわれる初期段階の方に関しては、シールを貼って歩かせません。恥ずかしい、周りに知られたくない。そのような方は持ち物に持たれるという形になりますので、シールを貼る位置によってその人らしさ、ルールも守った形でご提供できるのが、私達のごシル伝言板となっています。

どこにいるか知ってもらうための伝言板という形で名前をつけさせていただいております。現在、2月28日現在、1都1道39県、389の自治体様で活用いただいております。沖縄県で配布された方が本州で見つかったというお声をいただいております。全国でもそうですが、群馬県内においても、11の自治体で活用していただいております。今年度は全ての邑楽館林の自治体に入っていたいただいたということで、登録された方が行かれても見つかる仕組みができあがっております。また、安中市で実際に行方不明の訓練をさせていただきましたが、110番してパトカーを走らせて、見つけるというような訓練もさせてもらいました。群馬県の警察につきましてはご協力をいただいております。

各自治体でシールのデザインを変えさせてもらってあります。目で見てわかることが一番重要ですので、キャラクター、各市町村のマークを入れることによって、お声をかけやすければ、保護されたときに、館林市の方ですねとか邑楽町の方ですね、千代田町の方ですねなど、会話できるのが大きなポイントと思っています。指定QRコードを読み取るとご家族に連絡が行く

仕組みをとらせてもらっております。アナログな目で見てわかる部分、ICTを活用した部分は新しいものですので全国で普及してきております。また実際にどのような発見事例があるかをご紹介させていただければと思います。

外にシールが付いていれば、お声がけが一番しやすいですが、最近、カバンの中とか、パスケース、男性はキーホルダーをつけてカバンに入れられたり、ポケットに入れられてる方が、お支払いのタイミングや荷物を開けたときに気づかれて保護されるというケースも非常に増えてまいりました。おかげで、行方不明になってから見つかる時間が短くなったり、迎えに来られる方が遠方まで迎えに行かなくてよくなったという声をいただいております。警察からのお話になりますが、シールをつけてる方がATMの前に立っていたらすぐ保護しますということで、振り込み詐欺の防止に繋がったケースがあります。認知をお持ちの方が車を間違えて運転していたということで止めることができました。一番喜んでもらったのは救急隊になります。救急搬送される時に身元がわからない中で、シールがあることで家族に連絡が取れたというお話をいただきました。コロナ禍のときは、本人の情報が取れないと病院が受け入れてくれないということで、救急車が停滞する中で、シールをつけていることで、この方はどこの住民ということがわかるということで、病院側がスムーズに受け入れをしてくれたというお声をいただいております。能登半島沖地震の際にも、こういったものを活用いただいて救急搬送、避難所での活用ができていたというお声もいただいております。定額サービスで書きましたが、振り込み用紙が送られてきてお金を払ってくださいというときに、本当に払っているのか、間違えて払ってしまうことがあるというので、消費者生活センターからのお話もいただいております。認知症の方の初期、独り歩きが出てくる方々は色々な症状が出てきますので、そういった方への支援ができるような仕組みを導入させていただいております。内容としてはシールを貼っていただく。これだけで基本的にOKです。シールをもらうには役所への申請が必要になりますので、役所に申請をしてもらうと事前登録ができます。登録できればシールを貼って、独り歩きの方を見つけた方がシールを見つけてQRを読んでいただく。読んでいただくことで、連絡が家族まで伝わります。このような仕組みは今回のご紹介内

容となります。

こちらは実際に学校で森林訓練時に使ってる資料です。お声掛けをして安全確保、自分たちの安全確保した中でQRコードを読んでいただくことによって、発見者の方に登録している内容が分かります。ここではお母さん女性、身長が160センチ、中肉中背、天然パーマの方で上着青色チェックシャツ着てますと表示されます。病気の記載欄には、アルツハイマー型認知症、高血圧症糖尿病といったような内容が記載され、耳が遠い、大きい声で話をかけてあげてくださいなどの内容が登録されています。このような内容が確認できた上で、このQRコードを読み取るとご家族様に自動的にメールが伝わります。そして発見者の方が今の居場所を書いていただくことによって、その内容がご家族様にメールで繋がるという仕組みになっています。そしてメールの中に伝言板という特別なページで情報交換ができるようになりますが、重要なことは、QRコードを読んでもらった発見者の方と、ご家族様に関しましては、システムを利用しますので、双方の個人情報は一切出ません。メールアドレスやIPアドレスも出ない双方の個人情報を守った形でやり取りができるシステムとなっています。次のページはお時間ある時にご一読いただけますと幸いです。

認知症というと皆様からよく聞かれますが、まだ認知症ではないですよとお話することもあれば、認知症ですとお話することもございます。実際、医療的な部分を含めてお話をさせていただきますと、そのようなことは認知症の方だけにあるものではなく、一般的に年を取ってくれば出てくる症状だと思えます。このようなことが認知症に繋がっていく。普段の人のミスとか不安が気づけば認知症になってますという状況になりますので、認知症を抑えるためにも、色々な予防運動をしていく、外に出る機会を増やしていくことが今の対策となっております。

今回のシステムに関しましては、医療面、金銭面、防災面、独り歩きする面も全てに関して、対応できるモデルを持っておりますので、資産は導入いただいて使うことで、サステイナブル、見えるピンクゴールド福祉的な部分を次の世代へ進んでいく、先進的な動きをしているということをご理解いただければと思います。

最後に館林市からお話をいただいております。市のホームページからQRコードを読んでもらうと認知

症に関する事の中にご紹介もあ
ります。そしてその中に認知のガイドブックも掲載されて
おります。認知症に関しまして、不安がある、周り
の方はどうかと思ったときにお手に取っていただ
ければと思います。またこれから地域の共生社会の
中、認知症サポーター養成講座の出前講座を実施して
います。市民の方だけが受けるのではなく、各企業様
に出向いて出前講座をしておりますので、連絡をいた
だければ幸いです。このお話を館林市の方にお話をし
ていただければ、皆様のご都合の良い時間で、実際に
認知症の勉強ができますので、認知症を理解すること
によって認知症予防に繋がったり、皆様の長く元気で
労働力として活動することができると思います。本日
はお時間をいただきましてありがとうございます。



小池 和敏 S・A・A

< 4月の献立 >

- 4月 3日 (金) キーマカレー
- 4月 10日 (金) 炒飯&餃子
- 4月 17日 (金) たけのご飯
- 4月 24日 (金) オムライス

< 第3回親睦ゴルフコンペ >



< 懇親会の様子 >



優勝おめでとうございます!

- ◆例会日 毎週金曜日 12:10より
- ◆例会場 ニューミヤコホテル館林 (館林市文化会館)
館林市城町 3-1 TEL0276-50-1541
- ◆事務所 館林信用金庫本店内
館林市本町 1-6-32 TEL・FAX 72-8181
- ◆E:mail tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

- 第 2840 地区ガバナー 竹中 隆
- 会 長 本島 克幸 副会長 山本 樹
- 幹 事 藤島 厚 副幹事 中世 吉昭
- 会報 委員 森田信一郎 斉藤 正人
- 発行責任者 本島 克幸 編集責任者 森田信一郎